



「付き合う」とは、一緒にいて楽しむこと？

H29. 11. 13 住小：坂井

大人と子どもとの関係性を探りたくて、「付き合う」というタイトルで連載することをお伝えしました。自分で書いておきながら、改めて子どもと「付き合う」とは何かを、こしばらく考えながら過ごしてきました。

先週初めから、3年生と会食会をしています。名前を覚えたり、一人一人の様子を直接知りたいと思い実施しています。6年生とは9～10月にかけて行いました。もう一学年は中学年で実施したいと思い、音楽発表会の練習で忙しい4年生ではなく3年生にお願いしたのです。毎回6～7名との会食です。短い食事の時間（20分程度）ですが、本当に楽しいです。その時々で話題は違いますが、好きなことや得意なこと、幼稚園や保育園の思い出、テレビ番組のことプロスポーツのことなどが話題に上がります。

担任の先生からも、教室で子どもたちと会話を楽しみながらや給食の時間を過ごしてほしいと思うのですが、今の学校では難しいのが実情です。その時間、子どもたちのノートや連絡帳の確認、体調のよくない子の対応、保護者の皆様への連絡、それから、食事の準備・後始末・マナーなどの「給食指導」もこの時間に行わなければなりません。私も、学級担任のときにはさっと食べて、あとの時間は、子どもたちのお世話やノートなどの点検に充てていたように思います。

ご家庭では、いかがでしょうか。お子さんとゆっくりと会話をする時間はとれるでしょうか。お仕事や家事があり、また、お子さんによっては夕方から夜にかけて様々な活動があって、「すれ違い」といったご家庭もあるかもしれません。私事ですが、子どもが小学生のころは自分自身の帰宅時刻が遅いことなどから、一緒に夕食をとることは週末くらいでした。、日頃触れ合う時間は、週に1、2回子どもが就寝するときの読み聞かせ（途中から私が寝てしまいましたが）程度の時期もありました。



過ぎてしまうと、子どもたちが小学生である期間はあっという間です。だから、もっともっと楽しんでおけばよかったと、今は残念な気持ちです。また、子どもにとっては、関わる大人も楽しそうなことは、きっとうれしいことでしょう。そのようなことから、子どもと「付き合う」とは、今の私は「一緒にいて楽しむこと」と考えたいと思っています。そして、そのような付き合い方が、子どもをよりよく育てる「キー」ではないかと思うのです。

保護者の皆様も子ども学校の職員も、子どもとたくさん関わっています。関わり方は、「指導」であれ「躰」であれ、その時間はしっかりと子どもと付き合いたい。様々なことで難しさはあっても、できるだけ楽しい気持ちで接したい。そのように強く思います。教師もそうですね。ある知り合いが、「私は授業で子どもと遊んでいる」と豪語していました。教師としてしっかりと指導し、その時間は子どもも教師も遊びのように楽しみ、子どもは力は高める。とても真似はできませんが、夢見てきたことです。

今週末には、同和教育参観日と PTA 主催の講演会（6年生も参加）があります。学校での様子や出来事を、是非ご家庭での「旬の話題」にしていただければと思います。

また、先週の大きな話題の一つは、4年生が音楽交歓会に参加したことです。文字や写真ではその様子を伝えることは難しいのですが、本当にすばらしかったです。他の多くの学校でも4年生が代表になることが多く、「学びの通過儀礼」になっているようです。これもまた、話題の一つにしていただければうれしいです。では、最後に出発前の練習風景の写真をお届けします。

